

雪はダンブで70台分

くまくら祭り

2月11日(土・祝)に第2回くまくら祭り(くまくら祭り実行委員会主催)が緑水湖畔のレイクサイドアリーナ周辺で行われました。

会場となったレイクサイドアリーナは、年末からの大雪も解けたため、ボランティアスタッフによって日南町方面から2トトラックで70台分の雪を運び、大きなくまくらと雪の滑り台が作られました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、中国からの研修生を含み約80名が参加し大きなくまらの前で写真をとったり、凧作り、フェルト作りなどをしたりして楽しみました。

最後は参加者自らがバケツを利用して、そく用の小さなくまくらを作り、明かりをとぼすと幻想的な世界に包まれました。



どんな絵を凧に描こうかな

7名の外国の方を迎えて 自己紹介をしよう

くまら小学校5・6年生の英語活動

3月1日に、西伯小学校にALTなどで活躍しておられる外国のお客様を7名迎えて、5・6年生との交流会が行われました。西伯小学校では、4年前より3年生以上の『総合的な学習の時間』の中に、週1回英語活動を取り入れています。子ども達は英語のみで進む授業にも慣れた様子で、7名の方の自己紹介をしっかりと聞き取り、英語クイズに答えしていました。また、自分のことを紹介する場面では臆することなくお客様の前に行き、上手に英語で自己紹介を行い、通じた喜びを感じていました。



私の趣味は何でしょうか

まちの話題

新たな芸を披露

くまら地区芸能大会

2月12日(日)おおくに田園スクエアで大国地区恒例の芸能大会が行われました。

雪が降る寒い一日でしたが、毎年楽しみされている方、約100人を前に、25組の出演者は得意の芸を披露しました。

会場は、踊り、カラオケはもちろん、皿回し、コントなど多彩なメニューにぎやかな声飛び交っていました。また、子どもたちには青少年育成協議会から竹とんぼや竹細工がプレゼントされ、珍しいものも喜んでいました。



2人羽織も息がびったり

事故のないように

～安全祈願祭～

ケーブルテレビ整備工事の安全を祈願し2月23日(木)法勝寺にある長田神社で工事関係者が集まり、安全祈願祭が行われました。

神事は、工事の安全を願い、全員が玉串を奉納し、お神酒いただいた滞りなく終了しました。

最後に工事を施工する「かんでんエンジニアリング」の金山本部長が、「自然と歴史ある南部町が最新の情報通信施設を活用され、さらなる町政の発展のために技術を提供し貢献したい。」と挨拶をされました。



工事の安全を祈ります

見とこと

知つとこと

日々好日

みんなの南部

悪い子はいないか!?

～交流豆まき～

町内の子育てサークル「かきつ子クラブ」と「にじいろポケット」が合同で交流豆まき大会を2月24日(金)いこい荘で行いました。

26組の親子が参加し、オニッコ電車競争や鬼退治と広い会場を走り回っていました。突然、青鬼が登場するとその迫力に泣き出す子がたくさんいましたが、勇気を出してボールをぶつけ、みごとに鬼を退治しました。鬼が退散すると笑顔が戻り、お菓子を食べたりおもちゃで遊んだりと楽しみました。また、親同士は子育てについての悩みや疑問を話し合い、有意義な交流となりました。



怖い青鬼にびっくり

さらなる躍進を誓う

～役場を表敬訪問～

陸上の日本中距離界のトップランナーとして活躍中の立命館大学4年生田子康宏さん(南部町境出身)が2月16日(木)に東アジア大会出場時の応援のお礼を兼ねて役場を表敬訪問しました。

面会した藤友助役に今後の予定を尋ねられると、「1、500mで日本記録を破りたい。来年、大阪で開催される世界陸上を目指し、さらには北京オリンピックを目指していきたい。」とあつく決意を語られました。4月からは中国電力に就職も決まり目標に向かってさらに飛躍が期待されます。



新天地で頑張ります